

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2023年10月5日発行【再刊第15号】

今号の話題

- A T W S 道内でアジア初開催
千歳のスポット高い評価
- 支笏湖ブルーキャンプで
音楽とイベントのひとつとき
- 千歳川で秋満喫
インディアン水車まつり開催

A T W S、北海道でアジア初開催 支笏湖など千歳のスポット 関係者に高い評価

千歳でのエクスカ
シオン(体験型見学会)

千歳でのエクスカ
シオン(体験型見学会)



豊かな自然が魅力の千歳川下りを体験するA T W S参加者

千歳でのエクスカシオン(体験型見学会)

千歳でのエクスカシオン(体験型見学会)

体験型観光の国際イベント「アドベンチャートラベルワールドサミット(A T W S)」が9月11～14日の期間中、道内で開催されました。開催には観光連盟も協力。千歳市内の観光スポットにA T W S参加者が足を運び、体験型観光の魅力を感じました。

アドベンチャートラベル・トレード協会が毎年世界各地で開催し、アジアでの開催は北海道が初めて。64の国・地域から観光ガイドや旅行会社関係者など約750人が参加し、道内でサイクリングやトレッキング、ウォーターアクティビティなどを体験しました。

ました。

には支笏湖に近い苔の回廊探訪と千歳川下りの2コースが選定され、初日の11日に29人が参加しました。千歳市独自の取り組みでは観光連盟に委託する形で、A T W S開催に合わせた9月7日から3泊4日の日程で、市内宿泊施設、サイクリング、カヌー、登山を体験する宿泊型エクスカシオンを実施。欧米の旅行会社4社を招きました。

9日には支笏湖ブルーキャンプ会場にも参加者が訪れ、環境配慮型のイベントと支笏湖での環境保全の取り組みに関する展示を見学



ブルーキャンプ会場で環境保全の取り組みの説明を受ける

して、参加者は支笏湖の美しさをはじめ、樽前山の雄大な自然も堪能。環境保全の取り組みやアクティビティガイドの説明に高い評価を受けました。

体験型観光は海外で人気が高

名車、旧車、高級車がファン魅了

地方創生MEGAモーターショー

地方創生MEGAモーターショー2023が9月16〜18日の3日間、千歳アウトレット・レラの敷地内駐車場で開催されました。延べ500台以上の高級車、外車、クラシックカーが並び、自動車愛好者を楽しませました。

同実行委の主催。観光連盟も

後援しています。士別市で始まった同ショーは北の玄関口から北海道を元気にするというコンセプトでレラの協力を得て開催。

名称に「MEGA」と冠して、内容をグレードアップしました。会場には「マクラーレン セナ」「フェラーリ・ポルトフィーノ」といった数千万円する高級

車も



名車、旧車の数々が来場者を魅了した

車が並び、訪れた人の目を引きました。カメラを手にしたファンたちがシャッターを切り、目を輝かせる子どもたちの姿も。愛車を持ち込んで参加した自動車ファン同士が会場の至る所で車談義に花を咲かせていました。ステージではライブイベントが催され、飲食の出店もあり、自動車ファンだけでなく家族も楽しめる催しに多くの人が訪れました。

支笏湖ブルーキャンプが9月

9、10日、観光連盟が管理運営する千歳市の美笛キャンプ場で開かれました。トークイベントのほか、ライブステージが繰り広げられ、参加者は豊かな自然の中で、環境への配慮とエンターテインメントが融合したイベントを満喫しました。

観光連盟とイベントクス・エンターテインメントが共同でイベントを制作しています。

藤巻亮太、上野大樹、ホワエク（敬称略）らが出演し、会場を盛り上げました。ファミリーステージでは、NHKの子供向け番組に「わくわくさん」として出演していた久保田雅人さん

と小野あつこさんが登場。トークステージでは阿諏訪泰義さん、汗ながしカットマンさんがサウナの魅力について語りました。司会は豊澤瞳さん、江田由紀浩さんが務めました。

初日は雨に見舞われましたが、薪割り体験や水遊び、テントサウナ、朝ヨガといったアクティビティやワークショップも開かれ、湖畔で豊かな時間を過ごす2日間となりました。



ステージイベントが会場を盛り上げた

豊かな森と水、音楽を満喫

美笛で支笏湖ブルーキャンプ



4年ぶりに復活したヤマメ釣り

インディアン水車まつりで秋楽しむ 釣り堀、イクラ弁当 4年ぶり復活

第44回インディアン水車まつりが9月17、18日、道の駅サーモンパーク千歳の敷地内で開かれました。千歳川らしいサケ鍋販売のほか、今年は4年ぶりにイクラ弁当の販売とヤマメの釣り堀が復活。来場者は各行事を楽しむとともに、千歳らしい味覚を堪能していました。観光連盟が後援しています。

会場ではサケ鍋とイクラ弁当をほおぼり笑顔の来場者。釣り堀でも親子連れが糸を垂らし、釣れると歓声上がるなど、大いに楽しめた様子です。ステージではエレクトーンや和太鼓、空手演武、自衛隊音楽隊の華麗な演奏が披露。太い丸太を切るタイムを競う丸太切りレースも開催。千歳川やサケとゆかりの深いアイヌ民族の古式舞踊が披露され、注目を集めていました。



朝どれトウモロコシは大人気

道産品を横浜で発信 トウモロコシ完売 千歳観光PR

そごう横浜店で9月13日から10月3日まで「秋の北海道物産と観光展」が開催されました。観光連盟も参加し、千歳近郊産の朝どれトウモロコシを販売。道産品の品質と味の良さは関東圏でも知れ渡っていて、毎日空輸した300本は午後1時の販売開始後、夕方までには売り切れるほどの人気でした。

前半の9月20日まで出展しました。観光連盟として同店の物産展に参加するのは初です。今年は猛暑の影響でトウモロコシの収量が少なく、千歳近郊で確保したものを毎日空輸しました。ブースでは千歳観光PR映像を流し、北海道全体の観光マップを掲示して、お客さまの旅行に関する相談に応じました。

詳しくはこちら

新千歳空港
寿インター駐車場

近くて便利! 空港まで7分 安く安心! 1日 600円

新千歳空港 寿インター駐車場

千歳観光物産サテライト【ミル】

魅力いっぱいの千歳産品
大好評にて販売中!!

千歳市千代田町7丁目 1789-3
千歳ステーションプラザ1階

イベント情報

▼支笏湖紅葉まつり（10月15日、支笏湖温泉園地）観光連盟が事務局を担う支笏湖まつり実行委員会の主催。支笏湖周辺の森が色づく季節に開催。紅葉を楽しみながら、支笏湖チップとキノコが具材の「支笏湖秋の味覚汁」を特価で販売します。太鼓演奏やご当地アイドルなどによるステージイベントが開かれ、地元産野菜の販売も行なわれる予定で、秋の支笏湖を盛り上げます。

▼第10回新千歳空港国際アニメーション映画祭（11月2～6日。新千歳空港ターミナルビル）世界で唯一空港内に映画館のある同空港で開催する映画祭です。毎回国内外から長編、短編のアニメが多数出品されていて、ファンも多い映画祭です。子どもだけでなく、大人でも楽しめる作品が上映されます。

森林スポーツフェスタ

秋のコースを力走 支笏湖地域で開催



豊かな自然の中で森林環境保全とスポーツイベントの融合を目指したマラソンを楽しむ「セブンイレブン記念財団・北海道森林スポーツフェスタ イン支笏湖」が9月3日、支笏湖園地を中心に開催され、市内外から多くの参加者がありました。

連盟会長の小田賢一が同実行委員長を務めました。同フェスタは1998年から始まり、今回で23回目。同財団の特別

協賛を得て開催しています。

森林環境保全プログラムでは、水中緑化のお話、ねんど遊び、ツリーイングなどが無料で体験でき、多くの親子連れが楽しんでいました。マラソンでは森林マラソン10キロ、親子マラソン2キロ、ノルディックウォーキング5キロの3種目を実施。森林マラソンは年齢別にクラスを分けての開催です。

スタート地点は支笏湖小グラウンド。スタートを務めた小田実行委員長のピストル音に合わせてランナーは一斉にスタート。声援を受けながら、好天のなか林間コースを走り抜けました。



小田賢一実行委員長から表彰状を受け取る上位入賞者

編集後記

アイヌ文化を学ぼうと平取町に行った帰り道、高速道路でタイヤがバーストしました。運転中異常な音がしたため、道路端に寄せて停車。後続車に注意して降りてみると、ホイールからゴム部分がベロリとはがれた状態です。会員になっているロードサービスに電話。1時間近く車外の安全な場所で待機しました。

原因は釘を踏んだのでは、との事。刺さり方によっては裂け目が大きく広がるそうです。これが山の中とか冬だったらどれほど待ったことでしょう。寒くない秋の夕方で安心しました。皆さまもお出かけ前にタイヤのチェックをしてみてください。釘が刺さっていたら事故になるかもしれません。（ひ）